

謹んで新春のお慶びを申し上げます

新冠町長 小竹 國昭



新年あけましておめでとございます。
町民の皆さまにおかれましては、希望に満ちた、輝かしい新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げますとともに、日頃から町政に対する格別なご理解とご協力に深くお礼申し上げます。

昨年は「地方創生元年」といわれ、地方自治体と政府が一体となった人口減少の克服と地域の活性化に向けた取り組みが始まりました。
これまでも、地方活性化施策としては、「列島改造」、「田園都市構想」、「ふるさと創生」などがありましたが、「地方創生」は、国全体がもう後が無い待った無しの深刻な状況に陥っているという意味では、これまでとは違う非常に重要な取り組みであります。

当町におきましても、少子高齢化や人口流出問題などの課題に取り組むため、地方創生総合戦略策定本部を設置し、地域の有識者による総合戦略推進会議や産業団体との意見交換、町民の皆さんからの意見提案の募集などを進めてまいりました。本年は、策定する町の総合戦略に基づき、様々な取り組みを進め、人口減少問題に立ち向かってまいります。

昨年の当町の大きな出来事の1つ目としましては、新冠町立朝日小学校が創立100周年を迎えました。
同校は、大正5年に日新小学校付属特別教授場として開校し、平成20年には、明和小学校、若園小学校、太陽小学校、美宇小学校、東川小学校と統合し、各校の意思を受け継ぎながら、教育目標である「新冠の自然と共に生き、広い心でたくましく前進する」という自然と共生する特色ある校風を樹立してきました。

100年の歴史と伝統を築きあげた先人の思いや願いを受け継ぎ、地域住民が一体となり、大運動会や100キロ100人駅伝、記念式典などの行事を成功させ、100年の歴史に花を添えました。
2つ目としましては、昨年5月20日に、日高食肉流通センターが操業を開始しました。

町民の皆さんをはじめ、多くの関係団体のご理解とご協力のもと、起業誘致事業として取り組んできたことが実現し、100名を超える雇用の創出や定住人口の増加、地域経済への波及効果など、将来に向かってまちづくりや地域の活性化をけん引する力となる企業が、地方創生元年の年に誕生した意義は非常に大きいものと考えておりますし、さらにハムやソーセージなど加工・製造による六次産業化が推進されることも期待しております。

産業の分野におきましては、軽種馬市場の好調をはじめ、基幹作物であるピーマンが、前年の販売額をさらに上回り6億円を超え、また、秋サケ漁も好調となるなど、一次産業は、総じて好調な結果となりました。
また、文化やスポーツの分野におきましても、全国や全道の大会に出場し素晴らしい成績を収められるなど、町民の皆さまが目覚ましい活躍をされたことは大変に喜ばしいことであり、新冠の誇りであります。

本年におきましても、町民の皆さまと一体となったまちづくりを行い、「小さくてもキラリと光るまち」「小さいからこそできる心あたたかいまち」の実現に向け全力で取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。
結びに、本年が町民の皆さまにとって、健康で幸多き飛躍の年となりますよう、ますますのご発展をご祈念申し上げます。年頭の挨拶といたします。



平成 27 年 6 月 6 日
朝日小学校創立 100 周年記念大運動会